

(別紙3)

文起第1064号-1

令和6年12月3日

(施設名) 米子市公会堂

(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団

(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

令和5年度「米子市公会堂」指定管理者業務評価書

施設名	米子市公会堂
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日(3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

新型コロナウイルスの5類移行後に、以前と同規模での自主事業を開催したことは評価できる。貸館事業も件数、利用者ともに回復傾向にある。市民との連携事業も多数開催され好評である。

また、花壇の手入れや玄関前の植栽、ボランティアで歩道を毎日清掃するなど適切に管理し美観を保つとともに、小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。

【第三者評価】

① 施設について

- 施設利用者も増えており、良質な企画をされている。
- 建物の老朽化がみられるところもあるが、職員の手による対応がなされている。
- 降雪時の除雪作業もできていた。
- 駐車場が少ないが、外部の駐車場と連携し不足の解消に努めておられる。

② 管理について

- 経費の削減に努めながら、美観を保つ努力もされている。
- 玄関前の花プランターの整備など、自然を感じられるよう努めている。
- 館内だけではなく、前庭なども美しく維持されている。

③ 事業について

- 利用者アンケートの結果も良好であり、問題ないとする。
- 新規の鑑賞事業も盛り込まれ興味深い。
- 前庭を利用したにぎやかな催しが増え、いい傾向である。
- 市民の文化芸術鑑賞、体験の機会の提供に大きく貢献している。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

- 市の中心部にある施設で多くの集客があることから、「災害時対応マニュアル」の早期作成をお願いしたい。
- 大ホールの楽屋にステージの様子が见られるモニターを設置してほしい。
- 予約から利用まで利用しやすいと聞いている。引き続き、利用しやすいシステムで運営してほしい。

【施設所管課】

- 良好な施設管理、PR活動等を継続するとともに、大規模な文化芸術公演の開催が可能であるという施設の特性を活かして催しの誘致活動を行い、多くの市民が良質な文化芸術に触れる環境を整えてほしい。

【第三者評価】

- ホールでの事業に併せて、前庭でイベントがあることはホールの事業主催者、前庭のイベント主催者にとってメリットが大きい。このような活動が増え、まちの賑わいづくりにつながることを期待する。

令和5年度下期「米子市公会堂」モニタリング評価表〔令和6年9月〕

施設名	米子市公会堂	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財)米子市文化財団
	所在地	米子市角盤町2丁目61番地
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
選定方法	公募 ・非公募	
施設の設置目的	市政30周年記念事業として昭和33年に建設された米子市公会堂は、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業（優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供）年間3回程度 参加型事業（多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供）年間3回程度 教育普及事業（芸術文化に関する普及活動、情報提供）年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（60点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	現地確認 人員配置は計画通りであり、災害マニュアル等を作成している。
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認 ポスター、チラシの配布、報道機関への情報提供、テレビ、ラジオを使った広報の他、近隣駐車場と提携し1時間無料サービスを開始する等、利用促進を図っている。
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	資料確認 施設利用者に安心・安全な状態の貸館を提供し、自主事業を行った。
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	資料確認

	第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		適切に行われている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料確認 館内壁の補修や展示紙の修繕などを職員が自前で行うなど適切に行われている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・現地確認 事業計画書通り事業は実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行われている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	現地確認 大ホールのみならず、前庭、ホワイエ、集会室の活用について積極的なPRを行い、利用者確保に努めている。
Ⅱ サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布、集計され、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	現地確認・資料確認 花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・資料確認 利用者に対する対応について適切に行なわれている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	現地確認・資料確認 市民に良質な文化鑑賞の機会を提供することができた。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができると管理運営内容であったか	B	現地確認 ホールだけでなくホワイエ、前庭等で多様な事業を行い、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図るといった設置目的に即した管理内容であった。
Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 妥当である。
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認 妥当である。

【総評（所管課評価）】 市民交流事業の実施においては、地元の音楽家の発表の場所を提供することで、地域の文化振興に大きく貢献していることが評価できる。 花壇の手入れや玄関前の植栽、ボランティアで歩道を毎日清掃するなど適切に管理し美観を保っている。小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。	合計点 （ 72 ） 点/（100 ） 点 ×100＝（ 72 ） 平均点 （ 3.6 ） 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1～※4 別紙のとおり

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特段なし。

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な結果であった。

補足資料【米子市公会堂】

モニタリング期間

令和5年

〔令和5年4～令和6年3月〕
〔令和4年4～令和5年3月〕

※1 利用状況

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	360	359	1	100.3 (%)	
施設利用者数	102,232	85,627	16,605	119.4 (%)	
施設稼働率	100.0 %	100.0 %	0.0	100.0 (%)	
事業開催数	18	16	2	112.5 (%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	16,120,289	15,170,018	950,271	106.3 (%)	
指定管理料	70,516,000	68,173,000	2,343,000	103.4 (%)	
事業収入	1,423,300	2,315,900	-892,600	61.5 (%)	入場料の高い自主事業が減ったため
補助金及び助成金	0	3,204,225	-3,204,225	0.0 (%)	光熱費高騰補助金がR5年はなかったため
その他	965,441	192,925	772,516	500.4 (%)	外部設備の電気使用量が増えたため
合計	89,025,030	89,056,068	-31,038	100.0 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	26,846,745	26,518,214	328,531	101.2 (%)	
委託料	25,621,636	26,056,471	-434,835	98.3 (%)	
施設費	24,145,580	22,275,969	1,869,611	108.4 (%)	
事業費	2,032,624	5,880,059	-3,847,435	34.6 (%)	開催費が高額な事業が減ったため
事務局費	5,530,000	5,841,000	-311,000	94.7 (%)	
合計	78,646,585	80,730,713	-2,084,128	97.4 (%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
① 事業収支	10,378,445	8,325,355	2,053,090	124.7 (%)	開催費が高額な事業が減ったため
② 利用料金比率	18.1 %	17.0 %	1.1	106.5 (%)	
③ 人件費比率	34.1 %	32.8 %	1.3	104.0 (%)	
④ 外部委託費比率	32.6 %	32.3 %	0.3	100.9 (%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	769.3	942.8	-173.5	81.6 (%)	
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	689.8	796.2	-106.4	86.6 (%)	

※ 4 団体等の経営状況

項 目	令和 1 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	備 考
①自己資本比率	62.8 %	44.8 %	55.5 %	61.2 %	54.6 %	
②流動比率	323.6 %	196.3 %	257.0 %	312.3 %	247.8 %	
③固定長期適合率	11.0 %	12.6 %	10.9 %	10.5 %	9.5 %	
④総資産経常利益率	-0.5 %	-8.1 %	8.8 %	3.9 %	2.9 %	
評 価	(以上の指標を参考に評価する。)					